

令和7年度第3回美幌町行政改革推進委員会 開催結果

1. 開催日・開催方法

開催日：令和7年12月16日（火）

開催方法：書面開催

※当初、令和7年12月16日に集合形式での開催を予定しておりましたが、大雪及び暴風雪警報の発令されたことから安全面を考慮し、書面による意見集約形式へと変更いたしました。

2. 議題

- (1) 第5次行財政改革大綱案及び前期実施計画案について
- (2) 第2次美幌町DX推進計画案について
- (3) 今後の策定スケジュールについて

3. 審議結果

各委員からいただいたご意見及びそれに対する事務局の回答は、以下の表のとおりです。

(1) 第5次行財政改革大綱案及び前期実施計画案について

委員名	委員の意見	事務局回答
森委員	修正等をする必要があるなどの意見はありません。 「行財政改革実施計画一覧」では、直近実績値の背景色がつくことで分かりやすくなりました。ありがとうございます。	前回の会議にて森委員よりご指摘いただいた内容をもとに、読み取りやすい記載となるよう修正をさせていただきました。
山野寺委員	計画に沿った着実な取組みの実行を望みます。	今回策定する計画に基づき、着実な取組を実行し、毎年度の取組結果や行財政運営警戒アラートの発動状況につきまして委員の皆様へご報告させていただきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

(2) 第2次美幌町DX推進計画(案)について

委員名	委員の意見	事務局回答
森 委員	<p>こちらも、修正等をする必要があるなどの意見はありません。</p> <p>⑩誰一人とり残されないデジタル社会の実現のために、実際に利用した方の声を簡単かつ短時間で聞き取れるような「声かけ」のようなアナログ的な仕組みもしばらくはあると良いなと思いました。</p>	<p>誰一人取り残されないデジタル社会を実現するために、サービスのご利用者からご意見を伺うことはとても重要であると認識しております。ご意見の効果的な収集方法も含め、実施方法について検討してまいります。</p>
山野寺 委員	<p>歯止めのかからない人口減少に対し、町民の減少に合わせた町職員の定数削減は、人件費の町財政にかかる負担を考えると必然の流れであると考えます。</p> <p>ただ、住みやすい町として美幌町政サービスの維持・向上も重要であり、そのためにもDXの推進は必要不可欠な取り組みであると強く認識していることから計画の着実な実践を望みます。</p>	<p>人口減少社会に適応し、限られた人材で行政サービスを維持・向上させていくという視点は、将来の美幌町の持続可能な行政運営において非常に重要であると認識しております。</p> <p>今回策定する計画に基づく取組を推進し、町民サービスの向上と行財政運営の効率化を図り、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。</p>

(3) 今後の策定スケジュールについて

特になし

(4) その他

ご意見の文量が多かったため、事務局にて下記のとおり要約させていただきましたのでご容赦ください。

委員名	委員の意見	事務局回答
三浦 委員	<p>今回、事務局より示された計画の策定案の内容について承認します。</p> <p>以後、現代の社会に対して私が感じている内容を記載します。</p>	<p>いただいた意見を参考に、今回策定する計画に基づく行財政改革とDX推進の取組を推進してまいります。</p>

	<p>1. 「リアル」と「電腦（ネット）」の融合による未来創造</p> <p>これからの社会はインターネットを切り離して考えることはできず、デジタルとリアルが融合した社会（共通認識）として、みんなの未来を想像・創造していく必要がある。</p> <p>2. 国内産業の再興と「現場」の重視</p> <p>過度な海外移転が現在の円安や国内産業（農業・製造業）の衰退を招いたという認識のもと、首都圏一極集中のコントロールではなく、地域に根ざした「手仕事」や「現場の体力」を取り戻す視点が重要である。</p> <p>3. 多角的な視点（映画や歴史）からの未来予測</p> <p>1980年代以降のSF映画（スター・ウォーズ等）が描いた仮想世界が現実味を帯びる今、シリーズ化で焦点がボケるような「前例踏襲」ではなく、本質を見失わない一貫したビジョンを持って未来を設計すべきである。</p> <p>4. 蓄積してきたデジタル資産の活用と地域貢献</p> <p>長年育ててきたSNSアカウント（普通名詞ドメイン等）やブログといった「電腦のチカラ」を、2025年という時代の節目において、美幌町やみんなのために具体的に活かし、住み良い街づくりに繋げていくことが重要である。</p>	
--	--	--